

Social Community Brand : SCB

# アクティブラーニングの新メソッド 地域コミュニティブランド : SCB

崇城大学情報学部 教授  
星合 隆成 工学博士

# AL導入の背景

---

- AL導入の潮流(文科省大学教育部会)
- 本学中長期計画・アクションプログラム
  - 全学部にALを導入
  - ALの新メソッドとしてSCBを採用
- 放送局ワークショップ(文科省事業として実施)
  - SCBを用いた本学のAL講義の第一弾
  - 2014年4月から開講
- SCBは地域連携指向のメソッド
  - 全国の50以上の地域・行政・企業等とすでに連携
- SCBの普及
  - SCBを採用した県立高校が全国大会優勝
  - 商業高校のサブテキストでSCBが紹介

# 放送局スタジオ

---

- 文科省のご支援で構築（約5000万）
- ALの授業で使用する、ひとつの装置



工事中

Professional & Cool

# 放送局ワークショップ：ALの一つ

---

■ みんなでTV・ラジオ番組制作：  
みんディレ

■ 学生

■ 高校生

■ 市民

■ 専門家・プロフェッショナル集団

ポイント：プロ集団が参加

# 参加するプロ集団

---

- 熊本朝日放送（TV局）
- FM熊本（県域FM局）
- FM桐生（コミュニティFM）
- くまもと経済（雑誌社）

ポイント：プロ集団が参加

# 学生にとってのメリット

---

- 番組制作を通じた刺激的な講義
- 学習意欲の向上・責任感の醸成
- 技術習得、知識習得
  - 番組企画、収録、編集、放送技術
- 発信力の強化、学生自らが学生を巻き込む効果
- 番組取材を通じた幅広い学習
  - 取材対象・プロジェクトに対する深い学び
- 大学が地域の知恵・人・技術等の集積地
- 地域、企業、行政等との連携シナジー効果

# メディア企業・地域にとってのメリット

---

- 新規性・新奇性のあるコンテンツを開発
- 低コストで優良コンテンツを開発
- 活動への共感、新たな視聴者層の開拓
- マルチメディアの共同研究
- 他のプロジェクトとの連携
- 地域が求める人材の輩出
- 研究・学習成果の地域への提供

ポイント：新たなマーケットを開拓

# 大切なこと

---

- 持続可能な関係を構築
- 単なる地域貢献ではない

ポイント：Win - Win の関係

# 地域コミュニティブランド：SCB

---

- 地域活性化、コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス創発のための理論
- ALの新メソッドとして注目
- 新たなネットワーク理論として注目されたブローカレス理論がベース

地域コミュニティブランド、ブローカレス理論は、1998年に星合隆成 博士によって、考案・提唱されました。

# SCBの普及活動

---

- 地域コミュニティブランド協議会の発足
  - 熊本から全国へ
  - 熊本県、合志市、早稲田大学、崇城大学が発起人
  - 熊本県庁で記者会見
  - 早稲田大学との共同研究（有効性評価）

# テレビのニュース報道

---

- NHK, TKU, KAB, JCN, FMKなど



画面をクリックすると再生できます (スライドショーモード)



# 包括協定の締結

## ■ 熊本朝日放送とFM熊本との包括協定締結



# SCBの成果

---

- 商業高校のサブテキストで紹介
- 宮崎県立小林秀峰高校が全国大会優勝
- サミット・合志市主催シンポジウム開催
- 草野翔吾映画監督作品に登場
- 群馬グッドデザイン大賞受賞
- 東急ハンズ渋谷店に出展
- 70万人入場のコミケに出展
- 新聞・雑誌・TV・講演等多数
- FMの冠番組 など多数

# SCBのプロジェクト

---

- 放送局ワークショップ
- IT福祉（合志市との協働）
  - 認知症予防(脳テク)、バリアフリーマップなど
- 競輪場活性化（熊本市との協働）
- 14市町村(熊本市など14市町村との協働)
- ファッション雑誌の創刊
- 桐生市の織物産業
- など、全国で50以上のプロジェクト

# SCBのプロジェクト

---

- プロバスケット「熊本ボルタース」
  - 包括協定を締結（準備中）
  - 報道発表（準備中）
- 熊本県との連携
  - くまもと県南フードバレー
- 熊本市との連携
- 熊本市都市圏協議会との連携
- 早稲田大学
- アクティブラーニング
- アイドルプロジェクト

# SCBの手法 第1条～17条(一部抜粋)

---

- モノではなく、活動をブランディング
  - 活動に名前を付け、それを拡散
- 活動を物語化
- ブローカレス理論に基づくコミュニティ作り、モノづくり、物語づくり
  - ボトムアップ型、フラット型、コミュニティの3要素イトコ
  - イトコ（インセンティブ、トラスト、コネクト）
- 専門家を巻き込む：Win-Win
- フェデレーション
  - 他のプロジェクトとの連携、点から面を形成
- プラットフォーム化、標準化
  - 従来手法は、課題解決型

# PRさせてください その1

---

- ソトコト新書より出版予定

アクティブラーニングの新メソッド  
地域コミュニティブランド

# PRさせてください その2

## ■ オーム社より

